



Q1 平成22年の歩行者死亡事故（歩行者が第1当事者または第2当事者の事故）の相手は9割以上が自動車ですが、自動車の事故時の行動類型で最も多いのは、次のうちどれでしょう？

- ①直進 ②右折 ③左折 ④後退

Q2 歩行者死亡事故を自動車行動類型別に運転者の人的要因をみると、「直進」で最も多いのは「漫然運転」と「脇見運転」です。この「漫然運転」と「脇見運転」で何%を占めているでしょう？

- ①約50% ②約60%
③約70% ④約80%

Q3 自動車直進中の歩行者死亡事故を歩行者の法令違反別にみると、「違反あり」が約70%を占めています。違反の中で最も多いのは、次のうちどれでしょう？

- ①車両の直前・直後の横断
②横断歩道外横断
③信号無視



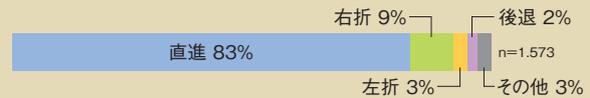
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q 1 解答 ①直進

<解説>

平成 22 年に発生した歩行者死亡事故（歩行者が第 1 当事者または第 2 当事者の事故に限る）について歩行者の事故相手を見ると、普通乗用車、軽乗用車、普通貨物車、軽貨物車の順に多く、これら自動車で 94% を占めている。さらに自動車について事故時の行動類型をみると、「直進」が歩行者死者数の 83% となっている。ドライバーは、真っすぐな単路のように運転操作の少ない道では、つい緊張が緩みがちだ。直進ではスピードが出ていることも多いため、一瞬の気の緩みや脇見が死亡事故につながることを理解して運転に集中しなければならない。



Q 2 解答 ③約 70%

<解説>

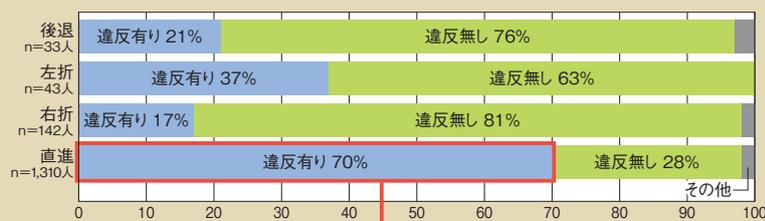
自動車行動類型別に運転者の人的要因の割合をみると、「直進」では、考えごとやぼんやりといった「漫然運転」が 35%、オーディオ操作や遠方の信号を注視などによる「脇見運転」が 35%、合わせて 70% を占めている。一方、「右折」「左折」「後退」では、歩行者はいないとの思い込みやしっかり確認していないといった「安全不確認」が大部分である。「直進」では運転への集中を欠いたり、周囲の物事へ意識が向くことによって、歩行者の発見が遅れ、事故につながることを認識し、集中力の低下を感じたら、クルマを止めて身体を動かしたり、休憩をとるなどしてリフレッシュすることも大切である。

Q 3 解答 ①車両の直前・直後の横断

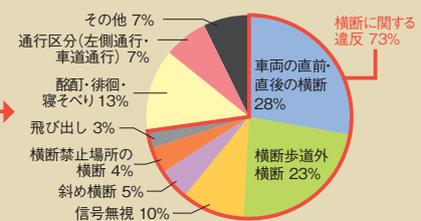
<解説>

自動車行動類型別に歩行者の法令違反をみると、「直進」は「違反有り」の割合が 70% と、「右折」「左折」「後退」に比べ突出して多い。「直進」について歩行者の法令違反の内訳を見ると、「車両の直前・直後の横断」が 28% と最も多く、「横断歩道外横断」（23%）、「信号無視」（10%）と続く。歩行者は真っすぐな道だから、運転者から見えているはずと油断せず、歩行者は車両から見落とされることがあることを理解し、自分の身を守るためにも横断歩道がある場所では必ず横断歩道を利用し、車両の直前または直後で横断しないようにしてほしい。

●自動車行動類型別／歩行者法令違反の有無別の歩行者死者数の割合（平成 22 年）



●自動車直進中「違反有り」歩行者の違反別死者数の内訳



※文中のデータ、グラフの出典は、公益財団法人 交通事故総合分析センター「イタルダ・インフォメーション No.94」

[使用上の注意]

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736